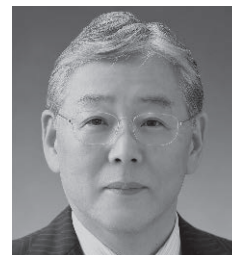


## 新型コロナウイルス感染症が我々にもたらしたもの ー現状と今後ー

か く みつお  
賀来 満夫



東北医科薬科大学 医学部 感染症学教室 特任教授

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、2019年12月31日に中国武漢で原因不明の肺炎として報告されて以来、全世界で感染が拡大し、2022年8月1日の時点で、世界で5億7千万人以上の感染者数、630万人を超える死者数が報告されることとなった。我が国でもオミクロン変異株 BA.5 により感染が急拡大し、過去最大規模の感染状況となっており、感染者が20万人を超える日もあるなど、第6波を超えた第7波に突入する事態となっている。

感染症対応のポイントは、迅速かつ確実な診断に基づき的確な治療を行うこと、そして感染予防を徹底し、感染の蔓延を防ぐことにあるが、今回の COVID-19 に対しては、そのいずれもが十分でないところに大きな問題点がある。

特に、今回の COVID-19 では、無症状者病原体保有者が一定数存在していることに加え、感染経路として咳やくしゃみだけでなく、会話などから生じるマイクロ飛沫などが関与しているため、感染症対策が難しく、全国の医療施設や老健施設で院内感染・施設内感染に加え、家庭や学校、職場などでの市中感染が数多く発生している。また、COVID-19 新規感染者のうち、一定の割合で重症化が起これることや治癒したとしても後遺症が発生する場合があること、さらに、オミクロンなどの新たな変異株が相次いで現われ、感染性・伝播性の高い変異株によりプレイクスルー感染を含むクラスターの発生や感染拡大が起これるなど、さまざまな問題が発生している。

感染症はすべての人が罹患しうる疾患であり、微生物が伝播するため、個人の疾患としてだけでなく、社会全体の危機となる。特に、COVID-19 では、医療関連感染や市中感染が同時多発的に起これるため、行政・自治体と医療関連施設のネットワークだけでなく、各種業界・企業、学校、市民そしてメディアなどとの間で総合的なネットワークを構築し、社会全体で対応していく必要がある。すなわち、今後、COVID-19 に対し、総合的かつ効果的に対応していくためには、本学術集会のテーマである“結 ゆい”: ネットワーク構築がキーワードとなってくる。

COVID-19 の脅威が続く中、本講演では、本感染症の現状、そして今後の対応として、“ネットワーク”: “結” 構築の重要性について述べることとする。

### 学歴および職歴

昭和 56年 3月	長崎大学医学部 卒業
61年 3月	長崎大学大学院医学研究科 修了(医学博士)
62年 9月	長崎大学医学部 第二内科学教室(感染症グループ)
平成 元年 10月	自治医科大学 呼吸器内科学教室 講師
2年 4月	長崎大学医学部附属病院検査部 講師
7年 7月	聖マリアンナ医科大学 微生物学教室 助教授
11年 3月	東北大学大学院 感染症学 検査診断学分野教授 東北大学病院 検査部長
24年 4月	東北大学病院 総合感染症科 科長
27年 6月	東北大学大学院 総合感染症学分野教授(併任)
31年 4月	東北医科薬科大学医学部 感染症学教室 特任教授 東北大学名誉教授・客員教授
令和 2年 10月	東京都参与 東京 ICDC 専門家ボード座長
令和 3年 6月	一般財団法人ジャパンフロンヘルスネットワーク財団代表理事
令和 3年 7月	東北医科薬科大学医学部 感染症危機管理地域ネットワーク寄附講座教授(併任)
令和 4年 7月	東京感染症対策センター(東京 ICDC) 所長、専門家ボード座長

### 資格

感染症専門医・認定内科医・認定臨床検査専門医・インフェクションコントロールドクター (ICD)  
英国 Infection Control Doctor Course 修了(1993年、1997年)

### 活動

- ・厚生労働省 厚生科学審議会委員(感染症部会)
- ・厚生労働省 院内感染対策中央会議委員
- ・厚生労働省 食中毒部会委員
- ・厚生労働省主催院内感染対策講習会 講師
- ・国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) プログラムスーパーバイザー、課題評価委員
- ・WHO 専門家: 感染症・感染制御アドバイザー(グローバルネットワークメンバー)
- ・一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会 災害時における総合感染症対策検討ワーキンググループ 座長
- ・一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会 STOP 感染症 2020 戦略会議座長
- ・一般社団法人日本野球機構・公益社団法人 日本プロサッカーリーグ新型コロナウイルス対策連絡協議会専門チーム座長
- ・東京感染症対策センター(東京 ICDC) 所長、専門家ボード座長

### 学会活動

- ・日本環境感染学会 監事・前理事長
- ・日本マイコプラズマ学会 理事
- ・日本感染症学会 評議員
- ・日本化学療法学会 評議員
- ・日本臨床微生物学会 評議員・前理事長
- ・日本臨床検査医学会 評議員

### 研究分野

感染制御学・感染症学・化学療法学・臨床微生物学

### 賞 罰

- 平成 29年 6月 第1回薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰 文部科学大臣賞(内閣府)受賞
- 平成 30年 4月 平成30年度科学技術分野 文部科学大臣表彰科学技術賞(理解推進部門)(文部科学省)受賞
- 令和 2年 12月 NPB 特別賞(日本野球機構)受賞
- 令和 2年 12月 チェアマン特別賞(Jリーグ)受賞